

(平成28年8月)

■全世帯アンケート実施へ

生け垣保全委員会は、かねてより花の季台自治会の全世帯員を対象としたアンケートの実施を検討してきましたが、8月2日の第5回会合で「生け垣に関するアンケート」案を最終決定しました。7日の幹部会・役員会で承認をもらった上、班長さんを通じて全戸配布します。アンケートで得られた集計結果と寄せられた意見・要望は、委員会の最終目標である保全と再生のプランづくりの基礎データとして大切に扱わせていただきます。

アンケートは無記名式です。計6つの設問では、「外構計画ガイドライン」を知っているか、個々のお宅の生け垣の状況や剪定をしているか、していないかなどを尋ねるとともに、剪定をしていない理由についても回答していただきます。さらに自由意見の書き込み欄を特に設けました。例えば、手入れ不足がじりじりと進行する団地全体の状況や、ガイドライン違反についてどう思うのか、あるいは委員会（または自治会）の活動に対しても意見・要望並びにアイデア等をお寄せください。

生け垣保全委員会は全国の自治会・町内会にもほとんど先進例がないユニークな組織・活動です。誰も踏み分けていない道を手探りで行くことに等しいため、はたしてどんなゴールが待ち受けているのか、そもそも最終目標にたどり着けるのか。確かな先を読める自信はまったくありません。

ただ、回覧連載「生け垣手入れ入門」やホルト（団地内道路の植え込み）内にあるカシの木の剪定要望一斉調査など、委員会のこれまでの頑張りが評価されだしたのか、ツツジ等の剪定に精出す世帯が徐々に増え始めたという声を最近耳にします。活動の成果が少しずつでも現れてきたのはうれしいことです。

そうした中でのアンケート実施です。ようやく核心部分に近づいてきたと感じるのは、全委員に共通した思いと言えるでしょう。漠然としたものよりも手応えのある数字やデータに基づいた保全活動がこれから求められるからです。正直なところ、委員会や自治会が保全と再生をいくら叫んでも「私有財産」に対する強制的な権限はありません。あくまでもガイドラインは「自主ルール」にすぎません。その意味で、委員会活動の最大の拠り所は皆さまの絶大な支援および生け垣保全と再生を願う熱い心です。

班長さんへの回答提出の締め切りは今月25日です。ご協力よろしくお願いします。

※生け垣保全委員会だよりは随時掲載します。